

令和2年度学校自己評価システムシート（栄北高等学校）

目指す学校像	建学の精神「人間是宝」、校訓「今日学べ」のもと、安全・安心・充実した生活で生徒の夢を実現する
--------	--

重点目標	1 進学実績の向上 2 基礎学力の向上とアクティブラーニング、キャリア教育の推進 3 生徒指導の徹底
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	8名
	教職員	14名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価				
年 度 目 標					中 間 評 価		年 度 評 価 (3 月)		実 施 日
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	●ほとんどの生徒が4年制大学への進学を希望しているが、約半数の生徒は推薦・AO入試での受験を希望している。確かな学力を身につけさせて一般入試で受験する生徒の増加を図り、一つ上の進学先に進学させる。	●国公立大学の合格者数の増加。 ●早慶上理、GMAR CHの合格者数の増加。 ●成成國武明獨、芝浦工業等の合格者数の増加。 ●進学行事の精選と、内容の充実。	●学校で勉強をやり切る環境作り。 ●代ゼミ現役講師演習。 ●7・8時間目演習（放課後演習）。 ●本校を会場とした国公立大学をはじめとする大学進学相談会。 ●進学講演会や小論文講演会等。	●徹底した進学指導により、目標大学への合格が実現できたか。 ●進学講演会や小論文講演会により、受験に対する意識が高まったか。 ●進学行事を精選、内容の充実により、進学実績が向上したか。	●国公立大学の合格者数の増加。入試後に評価。 ●早慶上理、GMAR CHの合格者数の増加。入試後に評価。 ●成成國武明獨、芝浦工業等の合格者数の増加。入試後に評価。 ●進学行事の精選と、内容の充実。B	●国公立大学、早慶上理、GMAR CHともに目標とする合格者数を達成した。 ●入試改革に対応した年間指導計画を確立した。	A	●難関大学に対応する授業や演習を強化し、さらに受験者数や合格者数を増やす。 ●コロナの影響も考慮しながら、有効な進学行事を立案する。 ●各大学への対策をさらに充実させる。	●年々、進学実績が伸びていて、先生方の努力にとっても感謝しております。入試改革への対応も更に研究して対応をお願いします。 ●入試の形式が変わる中、きちんと対応して過去最高の合格者を輩出したのは素晴らしいと思います。 ●学力向上の取り組みはやっていただけだと思います。実績が上がっていくことを楽しみに見えています。
2	●特色あるカリキュラムのもとに、国公立大学や難関私立大学を目指す生徒から、部活と勉強を両立させて高校生活を有意義に過ごしたい生徒まで、一人ひとりに合わせた学習指導で学力を向上させる。 ●「アクティブラーニング型授業」「キャリア教育」「基礎学力の向上」を3つの柱として、生徒の主体性や思考力、表現力を養わせる。	●基礎学力の向上。 ●放課後の校内学習と家庭学習の取り組み姿勢。 ●アクティブラーニング型授業の推進。 ●キャリア教育の推進・研究。 ●教員の指導力の向上。 ●ICT学習の推進。	●徹底した学習指導により、基礎学力を向上させる。 ●日常の指導とコミュニケーションによる、放課後校内学習と家庭学習の習慣化。 ●アクティブラーニング及びキャリア教育の意義や目的を生徒に理解させての実施。 ●教員研修を実施し、教育力、指導力を高める。 ●オンライン教育を含むICT教育環境の充実。	●徹底した学習指導により、基礎学力が向上したか。 ●放課後の校内学習を含む学習習慣が確立されたか。 ●アクティブラーニングが推進されたか。 ●キャリア教育が推進・研究されたか。 ●教員研修等により教員の指導力が向上したか。 ●オンライン授業により、生徒の理解力が向上したか。	●基礎学力の向上。B ●放課後の校内学習と家庭学習の取り組み姿勢。B ●アクティブラーニング型授業の推進。C ●キャリア教育の推進・研究。B ●教員の指導力の向上。B ●ICT学習の推進。B	●コロナ禍により、アクティブラーニング型授業を展開することが難しかった。 ●オンライン授業に伴い、ICTツールを有効に使い学習し、習慣化することができた。 ●教員は外部研修に参加するなど努力した。	B	●コロナ禍にある中で、感染予防を徹底させ、出来る限りアクティブラーニング型授業の展開を模索する。 ●教員研修等を有効に活用し、さらなる指導力の向上を目指す。 ●教材研究も二極化しているため、各教科とも策を講じる必要がある。 ●生徒自らの意思で、積極的に学習する能力を身につけさせる。	●コロナ禍でのオンライン授業の対応も早く、授業の遅れを感じる事なく、生徒が学習できた事に感謝しています。これからも基礎学力の向上に力を入れていただきたい。 ●I類の生徒の基礎学力の向上にも対策をお願いします。 ●コロナ禍で大変だったと思いますが、今出来る中での指導をお願いします。 ●コロナ禍でありながら、日曜も登校するなど、学習意欲が維持できていることに感謝しています。
3	●本校は素直で真面目な生徒が多く、非行など問題行動で指導（懲戒）を必要とする状況が非常に少ない。 ●入学時より正しい生活習慣を身につけることによって高校生としての自覚や更なる充実した学校生活と効果的な学習が望まれる。 ●本校では基本的な生活習慣やマナーについて徹底指導しており、高校生活はもとより、卒業後にも通用する人格形成に心がけている。	●生徒指導の徹底。 ●積極的な面談の実施とカウンセリングの活用。 ●いじめの早期発見、早期解決。 ●担任による日常指導の徹底。 ●家庭との連携の充実。 ●高校生としての自覚の確立。 ●身だしなみの徹底と挨拶の励行。	●面談により、生徒を理解し学習面及び生活面の安定と向上を目指す。 ●生徒の生活習慣を把握し、一人ひとりに合った指導を行う。 ●個別膝下指導により、悩みごとの早期発見と解決を行う。 ●学年と生徒指導部との連携、情報の共有により、問題行動の事前防止に努める。	●生徒指導の徹底により、問題行動を事前に防止することができたか。 ●積極的な面談の実施により、生徒個々の状況を把握し、的確な指導ができたか。 ●アンケート等により、いじめの早期発見、早期解決を図ることができたか。	●生徒指導の徹底。B ●積極的な面談の実施とカウンセリングの活用。A ●いじめの早期発見、早期解決。A ●担任による日常指導の徹底。A ●家庭との連携の充実。A ●高校生としての自覚の確立。B ●身だしなみの徹底と挨拶の励行。B	●高校生としての自覚を持たせ、家庭とも連携を取り、共通理解のもと適切な指導を実施した。 ●2者面談を頻繁に行い、個々の現状把握ができた。 ●アンケートや個別面談等ではじめ未然防止に努めた。	A	●生徒の成長に向け、さらなる充実を目指し、ワンランク上の自覚を持たせていく。 ●連携を密に取り、積極的な面談を実施していく。 ●生徒個々の現状をいち早く把握し、正確な生徒の状況を理解することに努める。 ●学校と家庭との的確な連携により、問題の未然防止に努める。	●生徒の皆さんは身だしなみも整っていて、真面目な生徒しか見た事ありません。 ●学校の雰囲気がとても良いです。 ●頻繁に2者面談などを行っていただいたので、子供も先生に話や相談がしやすく、親としても子供の事を理解してくれていると思っています。 ●様々な行事が中止になったことを残念に思いますが、学校生活に満足している様子が伺えます。 ●素行の悪い生徒やいじめなどは、見ないと思います。